三菱電機 ビル空調
フリープランシステム
室内ユニット

形名
GE-P1080MG3
GE-P1680MG3
GE-P2100MG3

取扱説明書

もくじ

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」および「保証書」をお渡しください。
- お客様ご自身では、据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は国内専用です。日本国外では使用できません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

WT07460X01

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止）

（接触禁止）

（水ぬれ禁止）

（ぬれ手禁止）

（一般注意）

（感電注意）

（高温注意）

（回転物注意）

（一般指示）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

⚠ 警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。

指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。

禁止

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- 吹出し風を身体に直接当てた場合、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

使用禁止

冷やし過ぎないこと。

- 冷やし過ぎた場合、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

使用禁止

特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- 燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。

使用禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- 圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。

変更禁止

ユニットの据付・点検・修理をする前に周囲の安全を確認し、子どもを近づけないこと。

- 工具などが落下すると、けがのおそれあり。

禁止

改造はしないこと。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

ヒューズ交換時は、指定容量のヒューズを使用し、針金・銅線で代用しないこと。

- 発火・火災のおそれあり。

ユニットを水・液体で洗わないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

フィルター清浄・交換など高所作業時は足元に注意すること。

- 落下・転倒し、けがのおそれあり。

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛けること。

- 薬品がユニットにかかると、運転時にけがのおそれあり。
- 薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- 冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- 火傷のおそれあり。

換気をよくすること。

- 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。

換気をよくすること。

- 燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。

- ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。

販売店または専門業者が当社指定の別売部品（HEPA フィルターなど）を取り付けること。

- 水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。
- 清浄度低下のおそれあり。

⚠ 注意

ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。

- 引火・火災・爆発のおそれあり。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。

粉塵が浮遊している場合は、ユニットを使用しないこと。

- 吸い込みによる故障・発煙のおそれあり。
- 健康障害のおそれあり。

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- 感電・故障のおそれあり。

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。

- フィルターの自重降下によるけがのおそれあり。

ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。

- ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。

使用禁止

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- 保存品が品質低下するおそれあり。

使用禁止

ユニットの下に食品を置かないこと。

- ホコリ・異物の落下により品質低下するおそれあり。

使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。

- 悪影響のおそれあり。

使用禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- 運転停止から５分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。

禁止

ぬれて困るものを下に置かないこと。

- ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。

据付禁止

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。

接触禁止

水の入った容器を製品などの上に載せないこと。

- 水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ホコリが目に入り、けがのおそれあり。

ホコリ注意

保護具を身に付けて操作すること。

- 主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。

感電注意

電気部品を触るときは、保護具を身に付けること。

- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。

けが注意

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ファンによるけがのおそれあり。

回転物注意

作業するときは保護具を身につけること。

- けがのおそれあり。

けが注意

薬品消毒実施後は、薬品のガスを換気により排出すること。その後ユニットを運転すること。

- ユニットに付着した薬品が飛散し、薬品を浴びると、けがのおそれあり。
- ユニットが吸い込むと腐食・変形による故障のおそれあり。

換気を実行

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- けがのおそれあり。

指示を実行

ユニット内の冷媒は回収すること。

- 冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- 大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。

指示を実行

販売店または専門業者が定期的に点検すること。

- ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、ドレン排水経路が詰まり、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。
- においが発生するおそれあり。

指示を実行

移設・修理をするときに

⚠警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

分解・修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。

指示を実行

⚠注意

基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ショート・感電・故障・火災のおそれあり。

点検・修理時は、配管支持部材・断熱材の状態を確認し劣化しているものは補修または交換すること。

- 冷媒漏れ・水漏れのおそれあり。

指示を実行

お願い

据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。

- 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

長時間使用しない時は、主電源を切ってください。

- 安全のため電源を切ること。故障のおそれあり。

運転を開始する 12 時間以上前に電源を入れてください。

- ユニット運転期間中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

ユニット内の冷媒は回収し、規定に従って廃棄してください。

- 法律（フロン排出抑制法）によって罰せられます。

ユニットの使用範囲を守ってください。

- 範囲外で使用した場合、故障のおそれあり。

ユニットの使用温度範囲を守ってください。

- 範囲外で使用した場合、故障のおそれあり。

吹出口・吸込口を塞がないでください。

- 風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれあり。

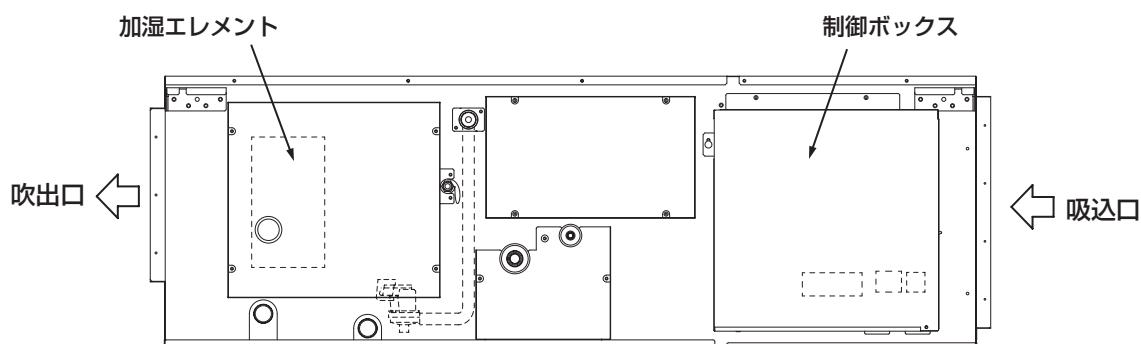
エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

- ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

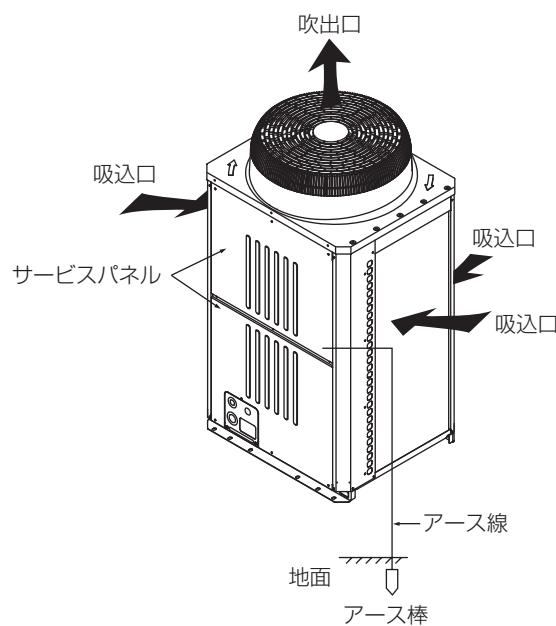
1. 各部の名称

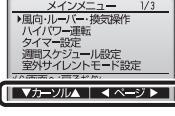
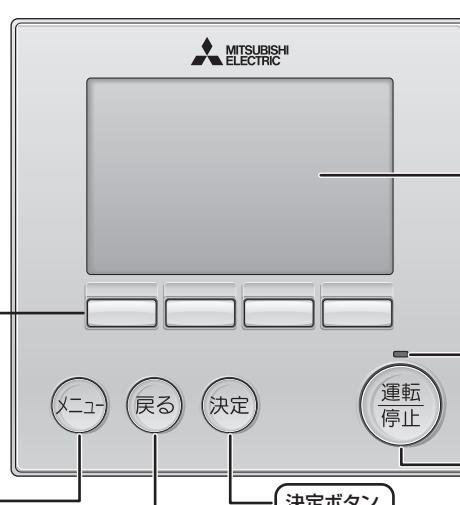
1-1. 各部のなまえとはたらき

1-1-1. 室内ユニット

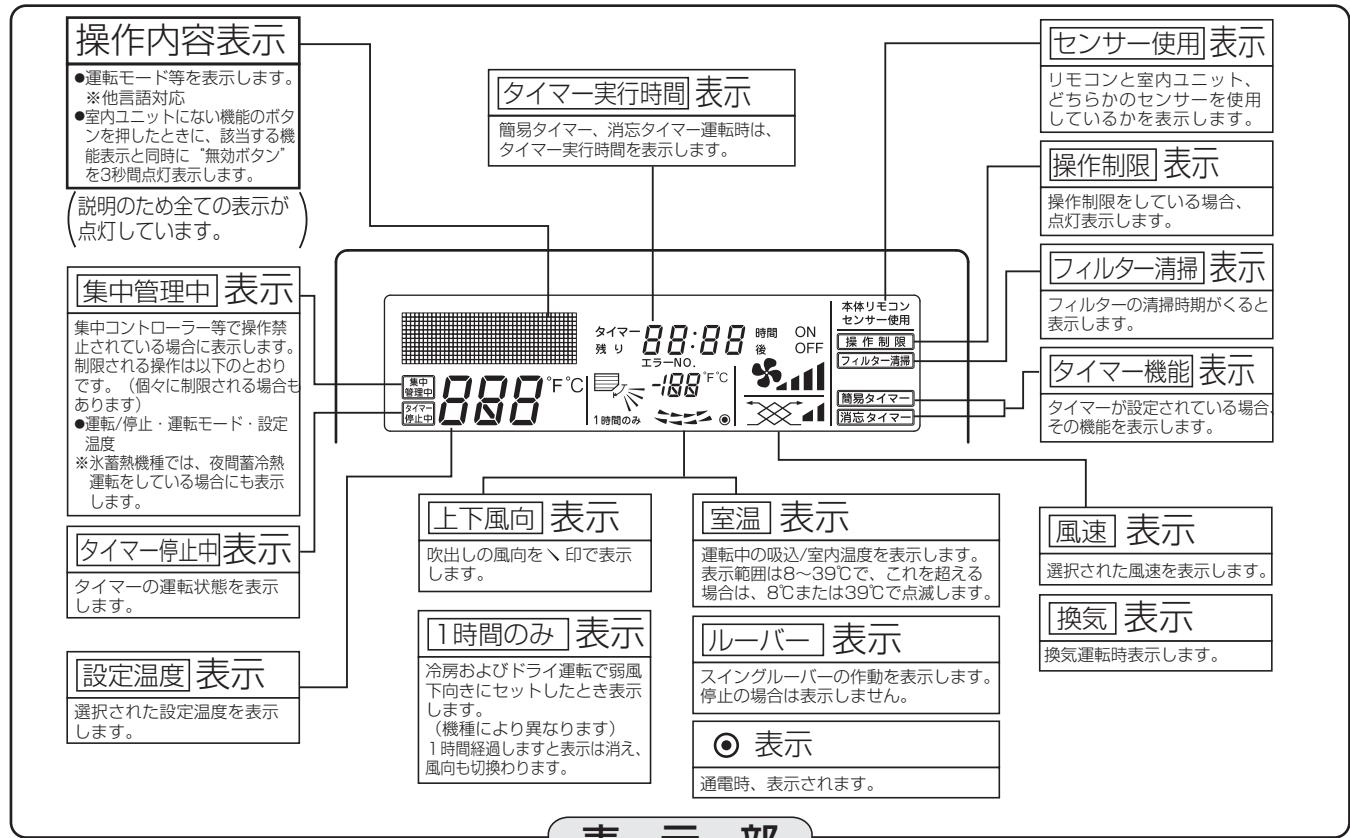
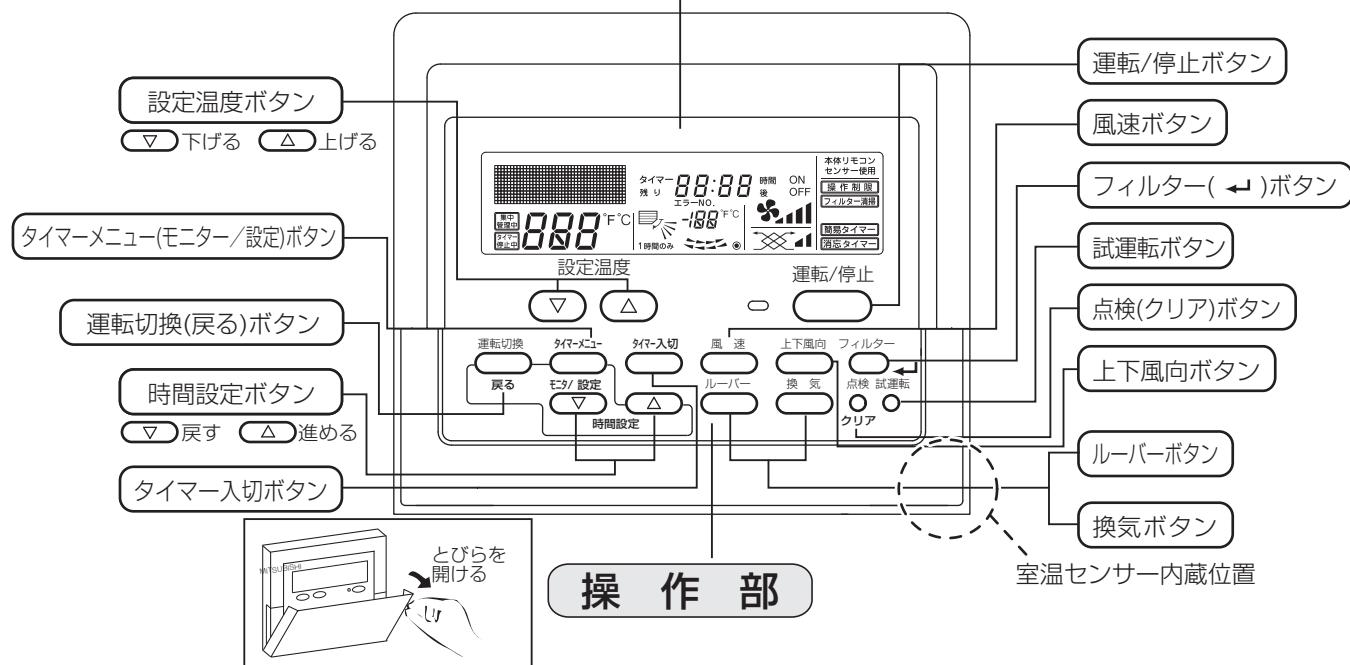
	GE-P1080,1680,2100MG3
風速	1 段階
運転モード	冷房・送風・暖房
上下風向調整	ー
左右風向調整	ー
ロングライフフィルター	別売部品

1-1-2. 室外ユニット

モデル名、馬力により仕様が異なりますので、詳細は室外ユニットに付属の説明書をご覧ください。

■PUHYシリーズ他

1-1-3. リモコン（別売品）

[1] MA スマートリモコン

お知らせ

- バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。（運転／停止ボタンは除く）
- 基本運転（運転／停止、運転モード切換、風量調節、温度設定）以外はメニュー画面からの設定となります。
- 使用する場合は、リモコンに付属されている取扱説明書 / 据付工事説明書を参照してください。

[2] MA スムースリモコン

お知らせ

- "PLEASE WAIT"表示（初期設定中） 電源を入れたときと停電から復帰したとき、約 3 分間表示します。
- 運転モードの点滅表示
  同一の室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転をしている場合に表示します。他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。
- "無効ボタン"表示
  操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には"無効ボタン"と点灯表示が出ます。1 台のリモコンで複数の室内ユニットを操作している場合、代表の室内ユニットが機能を装備していれば、表示されません。
- 室温表示
  本体の室温センサーを使用時で複数台の室内ユニットを操作されている場合、リモコンには、代表室内ユニット（親機）の内容が表示されます。室温センサー位置は、"本体"と"リモコン"が選択でき、初期設定は、"本体"です。
- 使用する場合は、リモコンの取扱説明書を参照してください。

2. ご使用の前に

・お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
・本製品の据付工事は、据付工事の資格保持者が各種法令に基づき実施しております。
・据付工事完了後、販売店が試運転を行いますので、立ち会ってください。
・運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店から説明を受けてください。

2-1. 使用上のお願い

“フリープランシステム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

1) 室内温度（室温）は最適にしてください。
・冷房運転では室内と室外の温度差を 5℃以内にするのが最適です。
・冷やし過ぎは健康にもよくありません。電力のムダ使いにもなります。
たとえば冷房のとき設定温度を 1℃上げると約 10%の電力が節約できます。

2) 冷房時は熱の侵入を少なくしてください。
・冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしてください。
・出入口は必要なとき以外は開けないようにしてください。

3) 長時間直接お肌に風をあてないでください。
・長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となります。
・特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

4) フィルターの清掃をしてください。
・フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。また露付・露たれの原因にもなります。
・ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。
※ フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

2-2. 各種運転について

(1) 暖房運転について

- 運転を停止しても風が出る：運転停止後約 1 分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。

(2) 自動運転について

自動運転には、シングルオートモードとデュアルオートモードがあります（リモコン表示は、両モードとも「自動」です）。

※ 室外ユニットや室内ユニットの機種により、自動機能がない場合があります。

※ GE-MG 形はシングルオートモードのみ対応しています。

- シングルオートモード

シングルオートモードでは、冷房・暖房の設定温度を共通設定とし、設定温度より室温が高いときは冷房運転を開始し、室温が低いときは暖房運転を開始します。

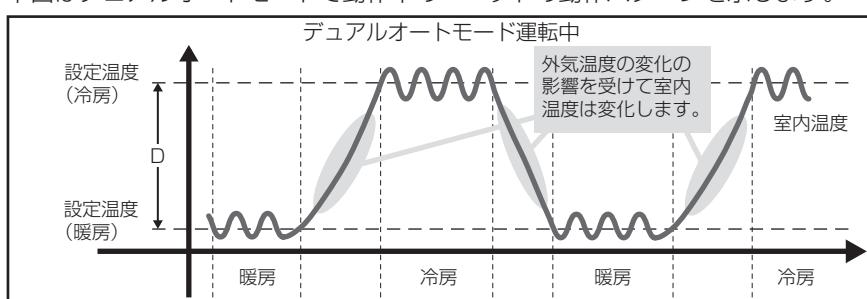
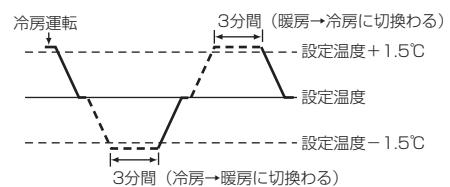
自動運転中に室温が変化し設定温度より 1.5℃以上高くなり、その状態が 3 分続くと冷房運転に切換わります。

また、1.5℃以上低くなり、その状態が 3 分続くと暖房運転に切換わります。

- デュアルオートモード

デュアルオートモードでは、2 値（冷房・暖房）の温度を設定でき、デュアルオートモード運転中は室内温度により室内ユニットが自動的に冷房と暖房を切換え、2 つの設定温度内に室内温度を維持します。

デュアルオートモードで設定された冷房と暖房の設定温度は冷房 / ドライ、暖房モードそれぞれ設定温度の設定に反映されます。

下図はデュアルオートモードで動作中のユニットの動作パターンを示します。

※ 冷房設定温度と暖房設定温度の差（D）の最小値は、接続する室内ユニットにより異なります。

※ リモコンや室内ユニットの機種により、デュアルオートモード機能がない場合があります。

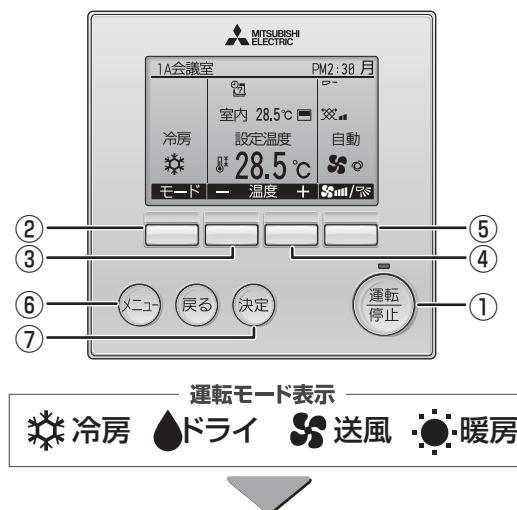
(3) 霜取運転（霜取中）について

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。霜取運転は約 10 分程度（最大 15 分）で終わります。
- 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

3. 使用方法

3-1. 運転方法

3-1-1. 運転／停止と運転モード、室温調節

運転開始の前に…電源が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が 10℃以下で 1 日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから 12 時間以上運転を待ってください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

[1] 運転の開始、運転モードを選ぶとき

MAスマートリモコンの場合

手順

1. ボタン①を押す。
2. ボタン②を押す。

運転ランプと表示が点灯します。

●1回押すごとに設定が切換わります。

冷房 ➡ 送風 ➡ 自動 ※1 ➡ 暖房 ※1

※1 室外ユニットの機種により自動、暖房機能がない場合があります。リモコンの機能設定（3-1-6項参照）で、自動モード不使用の場合は表示されません。

[2] 設定温度を変えたいとき

- 1 回押すごとに設定温度を MA スマートリモコンの場合は0．5℃単位で変えられます。MA スマートリモコンでは設定温度単位を変更することが可能です。くわしくは MA スマートリモコンの取扱説明書を参照してください。
- 温度設定範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19 ～ 30℃	17 ～ 28℃	19 ～ 28℃	設定できません

※設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。
範囲を超えて設定しようとした場合、“設定温度制限中”が表示され、制限中であることが表示されます。くわしくは、リモコンの取扱説明書を参照してください。

MAスマートリモコンの場合

(1)室温を下げたいとき

手順

1. F2 ボタン③を押す。

(2)室温を上げたいとき

手順

1. F3 ボタン④を押す。

WT07460X01

[3] 運転を停止するとき

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- 運転停止から５分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。

MAスマートリモコンの場合

手順

1. ボタン①を押す。

（1）再運転時の動作内容

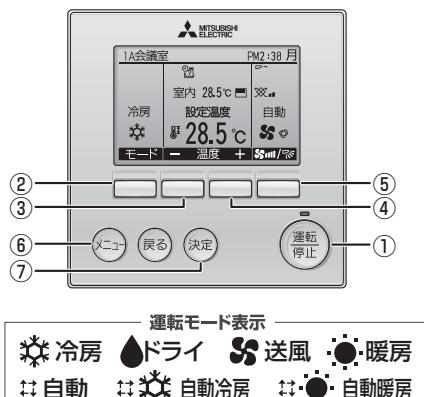
■MAスマートリモコンで再運転した場合は、右表の内容で動作します。

	MAスマートリモコンで再運転した場合の動作内容
運転モード	前回の運転モード
設定温度	前回の設定温度
風　　速	前回の設定風速

3-1-2. 風速調節

[1] 風速を変えたいとき

・この機能はありません。

3-1-3. 自動運転のしかた

[1] 自動運転を行うとき

MAスマートリモコンの場合

手順

1. ボタン①を押す。
2. ボタン②を押す。

F1 表示を 自動 にする。

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。（10ページ参照）

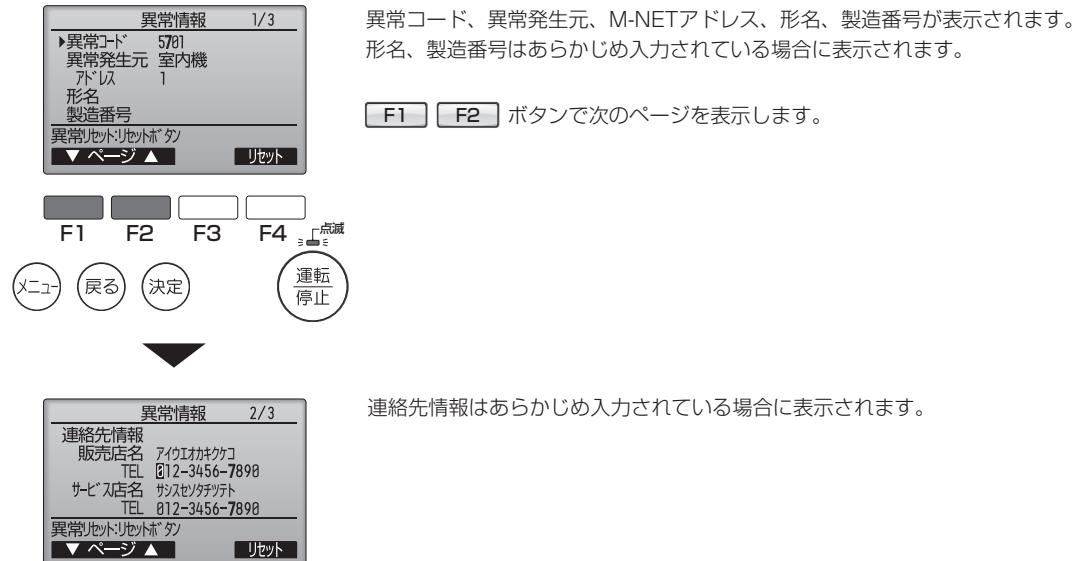
※運転モードが確定した後に、現在の運転モード[自動冷房]、[自動暖房]が表示されます。
尚、リモコンの初期設定で、「自動冷暖表示:しない」に設定変更されている場合には、“冷房”、“暖房”は表示されません。([自動]の表示のみ)
(リモコンの初期設定については、リモコンの据付工事説明書(設定編)を参照してください。)

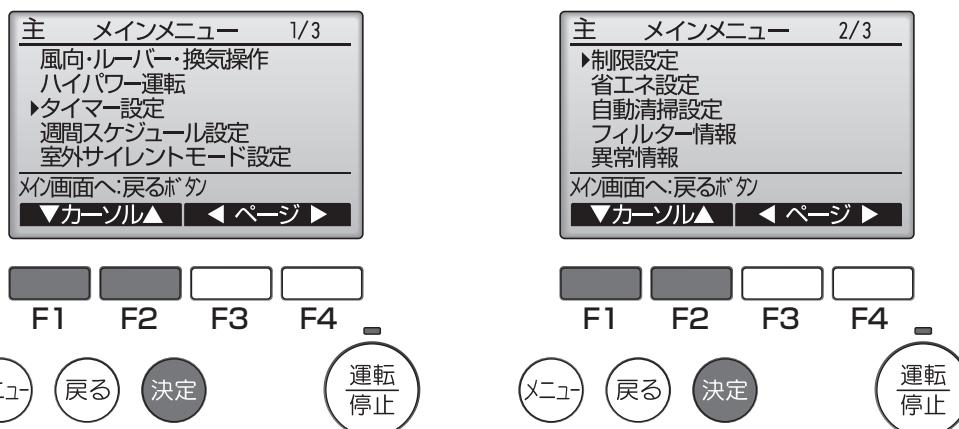
3-1-4. その他の表示・点滅について

「運転ランプ」が点滅し液晶画面に異常情報が表示されている場合は空調機に障害が発生しているため、運転を継続できずに停止しています。
異常内容をご確認の上、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、または工事店にサービスを申しつけてください。

異常コード、異常発生元、M-NETアドレス、形名、製造番号が表示されます。
形名、製造番号はあらかじめ入力されている場合に表示されます。

F1 F2 ボタンで次のページを表示します。

連絡先情報はあらかじめ入力されている場合に表示されます。

3-1-5. タイマー、スケジュール、省エネ運転のしかた（MAスマートリモコンの場合）

MA スマートリモコンから、タイマー運転、週間スケジュール運転、省エネ運転の設定ができます。
MA スマートリモコンのメニューボタンを押してメインメニュー画面を表示し、F1 F2 ボタンで設定したい運転を選択します。各運転の詳細設定方法は、リモコンの取扱説明書をご確認ください。

[1] タイマー運転

(1) オン／オフタイマー

運転開始時刻と停止時刻が 5 分単位で設定できます。

(2) 消忘れ防止タイマー

運転を開始してから停止するまでの時間を 10 分単位で設定できます。設定時間は 30 分から 240 分の範囲で設定できます。

[2] 週間スケジュール運転

1 週間の運転開始時刻と停止時刻が設定できます。
1 日最大 8 パターンの設定ができます。

[3] 省エネ運転

(1) 設定温度自動復帰

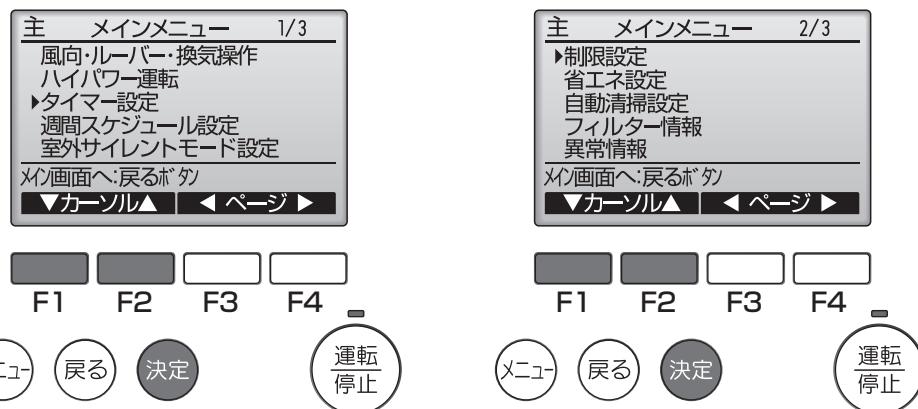
設定時間後に、設定した温度に戻します。設定時間は 10 分単位で 30 分から 120 分の範囲で設定できます。

(2) 省エネ運転スケジュール

1 週間の省エネ運転開始時刻と停止時刻、能力セーブ値が設定できます。1 日最大 4 パターンの設定ができます。設定時刻は 5 分単位で設定できます。能力セーブ値は 10%単位で 90%から 50%の範囲と 0%で設定できます。

3-1-6. 機能設定、初期設定のしかた（MAスマートリモコンの場合）

MA スマートリモコンから、タイマー運転、週間スケジュール運転、省エネ運転などの機能設定や、初期設定ができます。設定メニューについては、下表を参照ください。

MA スマートリモコンのメニューボタンを押してメインメニュー画面を表示し、F1 F2 ボタンで設定したい運転を選択します。各運転の詳細設定方法は、リモコンの取扱説明書を確認してください。

メインメニュー一覧

設定及び表示項目		内容
風向・ルーバー・換気設定		風向：風向を設定します。 ・ 風向固定位置を 4 ～ 5 段階で設定します。 ルーバー：ルーバーの ON/OFF を設定します。 ・「切」「入」から設定します。 換気：換気量を設定します。 ・「停止」「弱」「強」から設定します。
タイマー設定	オン / オフタイマー	運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ・ 設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ※時刻設定が必要です。
	消忘れ防止タイマー	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・ 設定時間は 10 分単位で 30 ～ 240 分まで選択可能です。
週間スケジュール設定		1 週間の運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ・ 1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ※時刻設定が必要です。 ※オン / オフタイマー有効中は動作しません。
制限設定	設定温度範囲制限	設定温度の範囲を制限します。 ・ 運転モードによる温度範囲の制限が可能です。
	操作ロック	指定した操作をロックします。 ・ 操作ロック中は指定した操作が無効となります。
省エネ設定	設定温度自動復帰	設定時間後に設定した温度に戻ります。 ・ 設定時間は 10 分単位で 30 ～ 120 分まで選択可能です。 ※設定温度範囲制限が有効の時は機能しません。
自動清掃設定		自動清掃実行内容を設定します。 ・ 自動的にフィルター掃除を実施するよう設定します。 ・ 清掃動作を時間指定、または常時実行するよう設定できます。 ※時刻設定が必要です。
フィルター情報		フィルターサイン発生状況を表示します。 ・ フィルターサインの解除を行います。
異常情報		ユニットに異常が発生した時、異常内容を表示します。 ・ 異常コード、異常発生元、冷媒アドレス、形名、製造番号、連絡先情報（販売店名、サービス店名、電話番号）を表示します。 ※形名以降はあらかじめ入力が必要です。 ・ 携帯電話点検コード検索サービスサイトの URL と QR コードを表示します。

設定及び表示項目		内容
メンテナンス	自動昇降パネル操作	自動昇降パネル（別売）の昇降操作ができます。
	自動清掃操作	自動清掃の強制運転を行います。
	風向固定操作	ベーンごとに風向の固定設定をします。
初期設定	主従設定	1 グループに 2 台のリモコンを使用する場合に主従の設定を行います。
	リモコン名称設定	メイン画面に表示されるリモコン名称の設定を行います。
	時刻設定	現在の時刻を設定します。
	メイン画面表示設定	メイン画面の詳細表示と簡易表示の切り換えを行います。 ・ 工場出荷時：詳細表示
	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。
	リモコン表示設定	リモコンの表示設定を行います。 ・ 時刻表示：「する」「しない」、「12 時間」「24 時間」表示から設定します。 ・ 温度単位表示：摂氏表示「℃」、華氏表示「° F」から設定します。 ・ 吸込み温度表示：表示、非表示を設定します。 ・ 自動冷暖表示：自動冷暖の表示・自動のみ表示を設定します。
	自動モード設定	運転モード選択時に自動モード使用、不使用を設定します。
	管理者パスワード登録	以下の設定に必要な「管理者用パスワード」を登録します。 タイマー設定・週間スケジュール設定・制限設定・省エネ設定・自動清掃設定
サービス	試運転メニュー	試運転・ドレンポンプの試運転操作を行います。
	サービス情報登録メニュー	異常発生時、異常画面に表示する形名・製造番号・販売店名やサービス店名・連絡先を登録することができます。
	機能選択	必要に応じて、各ユニットの機能を設定します。
	点検	異常履歴：異常履歴を表示、履歴消去を行います。
	自己診断	リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。
	サービス用パスワード登録	サービスメニュー操作時に必要なパスワードを登録します。
	リモコン機能設定	冷媒アドレス・号機を指定する画面で、実施に接続されている室内ユニットのアドレス・号機が表示されないときに使用します。
	リモコン診断	リモコンの診断を行います。
	リモコン設定初期化	リモコンを出荷状態に戻します。
Q&A		代表的なトラブルシューティングなどが表示されます。

※ 室内ユニットによっては、機能に対応していない場合があります。

3-2. その他の操作について

3-2-1. 長期間使用しないとき

[1] 運転停止の方法

手順

1. 4 ～ 5 時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。

お願い

漏水保護機能が働かなくなるため、室内ユニットの電源は切らないでください。

[2] 再度使い始めるとき

下記手順 1 ～ 4 の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。
• エアコンの電源を「入」にしてから 12 時間以上経過後、運転を開始してください。

手順

1. フィルターを清掃して、取付ける。
   - フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。
2. 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。
3. アース線が外れていないことを確認する。
   室内ユニットにも取付けてある場合があります。

   お願い

   - アース線をガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しないでください。アース工事に不備があると、感電の原因になります。アース工事を行う場合は販売店に相談してください。

4. ドレンホースの折曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどがないことを確認する。
5. 運転開始の 12 時間以上前からエアコンの電源を「入」にする。

[3] 加湿器のお手入れ

「4[3] 加湿器のお手入れ」を参照してください。

4. お手入れ

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- けがのおそれあり。

指示を実行

電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など高所作業時は足元に注意すること。

- 落下・転倒し、けがのおそれあり。

足元注意

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

感電注意

薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛けること。

- 薬品がユニットにかかると、運転時にけがのおそれあり。
- 薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。

感電注意

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- 冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

やけど注意

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- 火傷のおそれあり。

やけど注意

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。

使用禁止

- 安全のためにお手入れの前には電源を「切」にしてから行ってください。

[1] 室内ユニット、リモコンの清掃

- やわらかい布でから拭きをしてください。
- リモコン線を引っ張ったり、ねじったりしないでください。
  また、リモコンケースは取外さないでください。
- 手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を布等に少量ふくませて使用し、中性洗剤が残らないように拭き取ってください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

[2] フィルターの清掃

弊社フィルター（別売部品）をご使用の場合は、フィルター（別売部品）の説明書を参照願います。

お願い

- 電源を切り､運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。
- フィルターを取外すときは目にホコリが入らないようにしてください。また踏台に乗って行う時は、転倒しないようにしてください。
- フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因となります。
- フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

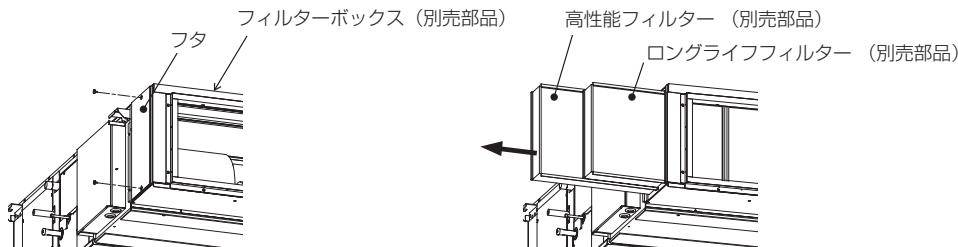
(1) フィルターの清掃手順

手順

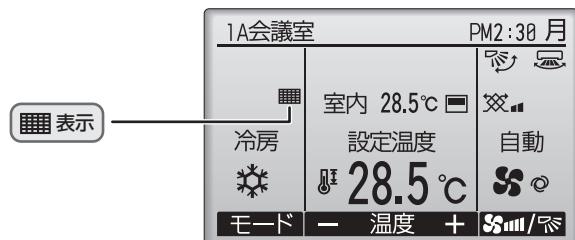
1. フィルターを取外す。（18 ページ参照）
2. フィルターのホコリを掃除機で吸取る。
3. フィルターを元の状態に取付ける。（取外しの逆の手順）

フィルターの取外しかた

手順

1. フィルターボックス（別売部品）のフタを閉めているネジ（2 本）を外す。
2. フィルターボックス開口部よりフィルターを矢印の方向に引き抜く。

(2) フィルターの清掃時期

■ワイヤードリモコンの場合は ▦表示 表示を点灯させて清掃時期をお知らせします。

室内ユニット	運 転 時 間
GE-P·MG形	2500

(3) 表示をリセットする

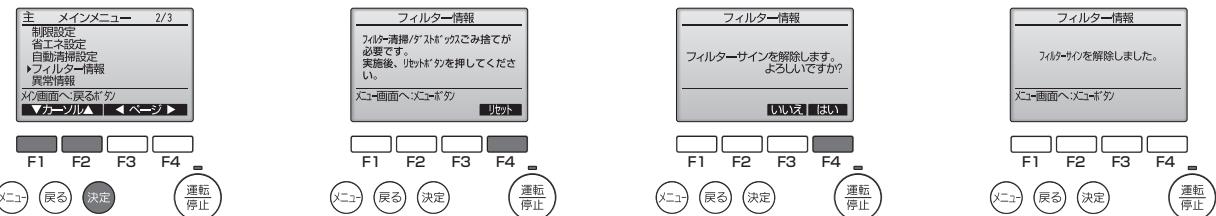
手順

1.『フィルター情報』を表示する。

主 メインメニュー 2/3
制限設定
省エネ設定
自動清掃設定
▶フィルター情報
異常情報
メイン画面へ:戻るボタン
▼カーソル▲ ◀ ページ ▶
F1 F2 F3 F4
メニュー 戻る 決定 運転停止

2. [F4] ボタンを押す。

3. [F4] ボタンを押す。

完了画面が表示されます。

- フィルター清掃を行ってから表示を消してください。表示を消すとユニットの運転時間もリセットされます。
- 2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、接続された室内ユニットのうち1台でもフィルター清掃時期がくれば“フィルター清掃”が表示されます。表示を消すと全てのユニットの運転時間がリセットされます。
- 運転時間で表示される“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

[3] 加湿器のお手入れ

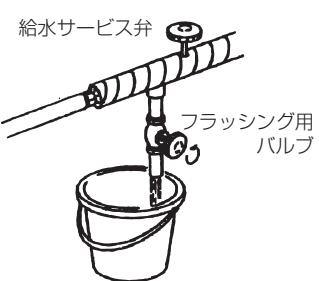
お願い

- **本製品は、専門業者の管理のもとに使用してください。誤った使用をされた場合は、水漏れや感電等事故の原因になります。**
- **給水管のジョイント部は取外ししないでください。着脱を繰り返すとジョイント部変形による水漏れの原因となります。**

(1) 暖房シーズン始め

手順

1. 給水配管のフラッシングを行う。

【給水配管のフラッシング要領】
①給水サービス弁を開けてください。
②フラッシング用バルブを開け、給水がきれいになるまで放水してください。
■給水圧力が高い場合や、エアが入っている場合は、水が勢いよく噴出することがあります。
■水がこぼれた場合に備え、下部の品物はできる限り移動させ、必要に応じてビニールシートを敷くなどして、養生してください。

上図は実施例です。給水がきれいになるまで放水してください。

■フラッシング用バルブを閉めたあとも、内部の残水が出ることがあります。
③作業終了後は、フラッシング用バルブを閉め、水漏れがないことを確認してください。

2. **給水サービス弁を開ける。**
3. **湿度調節器のある場合は、希望湿度にセットされていることを確認する。**

(2) 暖房シーズン終わり

手順

1. **給水サービス弁を閉じる。**
2. **暖房試運転を実施し、加湿器をよく乾燥させる。**
   ■リモコンの [**試運転**] ボタンを 2 度押しすることで試運転モードに入ります。（運転モードは "暖房" にしてください）
   ※試運転方法はリモコンにより多少異なりますので詳しくはリモコンに付属されている説明書を参照してください。
   ※試運転モードは切タイマーにより、2 時間後に自動で停止します。

(3) 日常の運転管理

お願い

- **衛生的な空調を行うために、運転停止時に加湿器が湿った状態で長時間放置されることは望ましくありません。**
  室内ユニットの運転を一昼夜以上にわたって停止する場合には、上記の暖房試運転を 1 時間程度実施し、加湿器を乾燥させてください。また一昼夜以上にわたって停止しない場合も、1 週間に 1 度程度加湿器を乾燥させてください。
- **電気点検等による停電で運転が停止する際は、事前に加湿器の給水サービス弁を閉めてください。**
  給水用電磁弁にリーク等の故障が生じた場合、漏水の原因となります。
- **暖房シーズン中は定期的に巡回点検を行い、配管各部からの水漏れおよび異常がないことを確認してください。**
- **加湿エレメントの交換周期は 3 年です。ただし、使い方によっては寿命が短くなる場合があります。**
- **加湿エレメントの交換については、お買い上げの販売店に相談してください。**

5. 定期点検のお願い

エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ゴミやホコリなどによりドレンホースが詰り、吹出口からゴミ、ホコリの飛散、室内ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。
当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。
点検のご依頼・ご相談は、別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご連絡ください。

JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA: 社団法人 日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14 について、http://www.jraia.or.jp/info/gl-14/
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/business/cfc_leak/

様式1　冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）

年　　月　　日～　　年　　月　　日

管理番号	

施設所有者					
施設名称		系統名			
施設所在地		電話			
運転管理責任者		電話			
点検事業者	会社名		責任者		
	所在地		電話		

使用冷媒		初期充填量(kg)		点検周期	基準		実績(月)	

設備製造者				
設置年月日				
使用機器	型式		製品区分	
	製番		設置方式	現地施工
	用途		検知装置	

冷媒量(kg)	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数(%)

作業年月日	点検理由	充填量(kg)	回収量(kg)	監視･検知手段(最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	ﾁｪｯｸﾘｽﾄNo.	確認者

6. 修理を依頼する前に

・ 以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない。 よく暖まらない。	フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している。	フィルターの清掃をしてください。
	設定温度が高くまたは低くなっている。	温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
	室内ユニットの吹出し口･吸込み口が塞がれている。	室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
	窓やドアが開いている。	窓やドアを閉めてください。
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。	暖かな風をおとどけするため準備中です。	そのままお待ちください。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。	そのまま約 10 分ほどお待ちください。
水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	温度変化で部品などが膨張･収縮して、こすれる音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。
部屋がにおう。	エアコンが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、または衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。	−
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。	−
	霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。	−
室外ユニットより水･水蒸気が出る。	冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。	−
	暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。	−
	霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。	−
リモコンの運転表示が点灯しない。	室内ユニットの電源開閉器が切れています。	電源開閉器を入れてください。
[運転・停止] ボタンを押したのに運転しない。 点灯したリモコンの運転表示が消える。	室内ユニットの電源開閉器が切れています。	電源開閉器を入れてください。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。	−
再運転のために停止後すぐに **[運転・停止]** ボタンを押したが、すぐに運転を再開しない。	エアコンを保護するため、マイコンの指示で止まっています。	再運転をした場合は、運転するまで約 3 分間お待ちください。
[運転・停止] ボタンを押さないのに、勝手に動き出した。	入タイマー運転をしている。	**[運転・停止]** ボタンを押して停止してください。
	遠方コントロールが接続されている。	運転を指示したところへ連絡･確認してください。
	“集中管理中”の表示が点灯している。	運転を指示したところへ連絡･確認してください。
	停電自動復帰が設定されている。	**[運転・停止]** ボタンを押して停止してください。

現象	原因の確認	処置方法
[運転・停止] ボタンを押さないのに、勝手に停止した。	切タイマー運転をしている。	**[運転・停止]** ボタンを押して運転を再開してください。
	遠方コントロールが接続されている。	停止を指示したところへ連絡･確認してください。
	“集中管理中”の表示が点灯している。	停止を指示したところへ連絡･確認してください。
リモコンのタイマー運転がセットできない。	タイマー設定が無効となっている。 タイマー設定が有効なときは、、のいずれかが表示されています。	−
リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る。	初期設定（約 3 分）を行っています。	そのままお待ちください。
リモコンにエラーコードが表示される。	保護機能が作動してエアコンを保護しています。	自分では絶対に修理しないでください。 エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名･リモコン表示内容を連絡してください。
排水音やモータの回転音がする。	冷房運転停止時に、停止後 3 分間ドレンアップメカを運転してから停止します。	3 分間お待ちください。
	運転を停止中でも他の室内ユニットが冷房運転している場合や、加湿器を使用している場合、ドレン水が発生します。ドレン水が溜まるとドレンアップメカを運転し、排水を行います。	−
暖房サーモ OFF 時および送風運転時に断続的に温風が出る。	他の室内ユニットが暖房運転をしている場合、システムの安定性を保つために、制御弁を時々開閉します。	そのままお待ちください。 しばらくすると止まります。

7. 保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

- 保証書は室外ユニットに添付しております。セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
  内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間

お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して１年間です

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このパッケージエアコンの補修用性能部品を製造打切り後９年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」（別添）にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- 「修理を依頼する前に」（21 ページ）にしたがってお調べください。
  - なお、不具合があるときは、ご使用を中止し必ず電源を切ってから、お買上げの販売店にご連絡ください。

- 保証期間中は
  修理に際しましては、保証書をご提示ください。
  保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
  修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
  点検・診断のみでも有料となることがあります。
- 修理料金は
  技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。
  - 技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
  - 部品代…修理に使用した部品代金です。
  - 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。
- ご連絡いただきたい内容
  1. 品　　名　三菱パッケージエアコン
  2. 形　　名　室外ユニットは、保証書に記入してあります。
     室内ユニットは、室内製品銘板に記入してあります。
  3. お買上げ日　　年　　月　　日
  4. 故障の状況　（できるだけ具体的に、リモコンのエラー表示番号なども）
  5. ご　住　所　（付近の目印なども）
  6. お名前・電話番号・訪問希望日

**■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。**

7-1. 移設・廃棄について

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。

指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。

ユニット内の冷媒は回収すること。

- 冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- 大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。

指示を実行

- 増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）に相談してください。
- 据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、専門の回収業者に依頼してください。

7-2. 据付場所について

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

♦ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

次の場所への使用は避けてください。

- 可燃性ガスの洩れるおそれがあるところ
- 炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど機器に影響する物質の発生するところ〈温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など〉
  熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こすおそれがあります。
- 粉や蒸気が多量に発生するところ
- 機械油を使用するところ〈加工油を用いプレスや切削をする機械工場など〉
  プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。
- 車輌・船舶など移動するものへの設置

次の環境でご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。（室内ユニット）

- 食用油を使用するところ〈厨房など〉
  プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。厨房用エアコンまたはダクト空調を選定してください。
- 湿気や蒸気の多いところ
  冷房時に結露しやすくなります。
- 粉が多量に発生するところ
  フィルター目詰まりで機能低下が生じます。
  ダクト空調を選定してください。
- 高周波を発生する機械（高周波ウェルダー、医療機器、通信機器など）を使用するところ
  通信異常やマイコン誤動作の恐れがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ〈美容室など〉
  臭いが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹出すことがあります。

海浜地区・積雪地区における設置に関して（室外ユニット）

- 海浜地区等塩分の多いところ
  使用を避けるか、耐塩害／耐重塩害仕様室外ユニット（受注品）をお求めください。
- 積雪の多いところ
  室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。（別売部品として用意しています。）

室内ユニットは水平に据付けてください。水たれの原因になります。

7-3. 電気工事について

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

♦ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び据付工事説明書に従って施工してください。
- 電源はエアコン専用回路にしてください。
  他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
- ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

7-4. 運転音にも配慮を

- 据付けにあたっては、エアコンの質量に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。
- 室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。
- 室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。性能低下や運転音増大のもとになります。

8. 環境関連の表示

[1] 再資源化について

このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として製品本体を材質別に容易に分解できる構造になっています。

[2] フロン排出抑制法

ユニットを廃棄される時は、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買い上げの販売店、またはメーカー指定のサービス店、またはお客様相談窓口に相談してください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

室内機および室外機に表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。

この製品はフロン排出抑制法の第1種特定製品です。廃棄･整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

室内機にはフロン類の種類･GWP（地球温暖化係数）が表示されています。システム全体のフロン類の数量は室外機に表示されています。

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- 冷媒の種類及び数量並びに GWP（地球温暖化係数）は、室外ユニットに記載されています。
- 冷媒を追加充填した場合やサービスで冷媒を入れ替えた場合には室外ユニットの ＜冷媒量記入のお願い＞ の記入欄に必要事項を記入してください。

9. 法令関連の表示

9-1. 標準的な使用条件

- 使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、機器が異常停止したり、重大な事故の原因となります。
  室内外ユニットの使用温度範囲は、以下記載のとおりです。
  使用している製品を確かめたうえ、使用範囲を確認してください。

		外気温度
冷房	乾球温度	43℃以下
	湿球温度	15℃～ 35℃
暖房	乾球温度	－ 10℃～ 15℃
	湿球温度	―
室内外共使用可能な湿度目安としては､相対湿度30～80%の範囲内でご使用ください。		

※ 外気温度が、冷房時 14℃（乾球温度）以下、暖房時 15℃（乾球温度）以上で強制サーモ OFF（送風状態）になります。
※ 加湿器組込み時で、外気温度 5℃（乾球温度）以下の場合には、加湿器凍結防止のため、強制的に暖房運転をすることがあります。
※ 室内ユニットの周囲温度は、露点温度 26℃以下で使用してください。

9-2. 機器予防保全の目安

保証期間を示しているものではありません。

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1 年	20,000 時間
モーター（ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など）		20,000 時間
ベアリング		15,000 時間
電子基板類		25,000 時間
熱交換器		5 年
膨張弁		20,000 時間
バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000 時間
センサー（サーミスター、圧力センサーなど）		5 年
ドレンパン		8 年

- 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
- 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によく確かめてください。
- ご使用環境、ご使用条件によりドレンパンの清掃や抗菌剤投入が必要になる場合があります。

上表は次の使用条件が前提となります。

- 頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
  （機種によりことなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6 回／時間以下を目安としています。）
- 製品の運転時間は、10 時間／日、2500 時間／年と仮定しています。（氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
- 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません。）
- 振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。
- 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
- 頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24 時間空調など）

9-3. 消耗部品の点検周期目安

保証期間を示しているものではありません。

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1 年	5 年
高性能フィルター		1 年
ファンベルト		5,000 時間
平滑コンデンサー		10 年
ヒューズ		10 年
加湿エレメント（自然蒸発式）		3 年
加湿エレメント（透湿膜式）		5 年
クランクケースヒーター		8 年
ドレンパン抗菌剤（標準搭載機種の場合のみ）		3 年
オイルフィルターエレメント	随時	油が垂れる前に交換

- 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。
- 加湿エレメントは交換が必要な消耗部品です。表は供給水質が市水・上水で硬度 70 以下の場合の交換の目安を示します。交換目安は保証期間を示しているものではありません。供給水中の硬度、イオン状シリカ、酸消費量が多い場合、加湿エレメントの劣化が早まり加湿能力の低下、変色、白粉発生などがあらわれることがあります。
- 使用環境、使用条件により抗菌剤の交換周期の短縮を考慮する必要があります。（対象機種：PLFY-EMG 形、PLFY-LMG 形）
- 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によく確かめてください。

10. 仕様

項目　　　　　　　　　形名	GE-P1080MG3	GE-P1680MG3	GE-P2100MG3
電源	単相　200V　50/60Hz		
冷房能力 (kW)	14.0	22.4	28.0
暖房能力（暖房顕熱能力） (kW)	13.7（8.0）	21.2（12.4）	26.5（15.5）
加湿能力 （ℓ/h）	8.3	13.0	16.2
外形寸法　高さ (mm)	470		
外形寸法　幅 (mm)	850	1250	
外形寸法　奥行 (mm)	1400		
風量 (m^3/min)	18(1080m^3/h)	28(1680m^3/h)	35(2100m^3/h)
騒音値 <PWL> (A 特性) (dB)	63/64	67/68	71/72
製品質量 (kg)	97	114	121

・冷房・暖房能力は、冷房：33℃（乾球温度）、28 度（湿球温度）、相対湿度 68%
　　　　　　　　　　暖房：（無着霜時）：0℃（乾球温度）、-2.9℃（湿球温度）、相対湿度 50%
　の条件で吹出温度設定（冷房：18℃、暖房 22℃）、配管長 7.5m、高低差 0m 時の能力を示します。

11. 別売部品

パッケージエアコンには、多様な使い方に対応していただけるように、専用の別売部品を用意しています。
三菱電機販売店でお求めください。

室内ユニット用別売部品

・高性能フィルター（比色法　65%）
　　例えば、学校・学習塾等、チョークの粉などが多い環境でお使いください。
・フィルターボックス
　　高性能フィルターを採用される場合は、フィルターボックスが必要です。

上記以外にも多々別売部品があります。